

来る2月12(土)13日(日)と関内小ホールで公演するミュージカル「忍」の稽古を進めるに当たり、稽古場はコロナ禍の関係で人の密を避けるためにも広い空間が希望されます。そこで急遽予定していたあかいくつスタジアムより広い稽古場を探す事になりました。結果、元街小学校始め大鳥小学校の体育館、大鳥中学校コミュニティハウス他をお借りすることが出来ました。学校の体育館は寒いので寒さ対策が必要ですが、本日に大助かりです。

先日、本牧の大鳥中学校コミュニティハウスで初めて稽古がありました。中学校の校庭の隣に整備されたテニスコートが2面もあり驚きました。高速道路近くにあります。騒音も無く、稽古場は教室を2部屋通した広さで日当たりがよく、周辺の住宅も落ち着いたおしゃれな家が多くよい環境でした。もちろん寒ければ暖房も利用させて頂けるわけです。その日は申し込みが急でしたので午後12時半までの利用で、その後は大鳥小学校の体育館に移動になりました。皆、長距離をもとせず午後の稽古場には笑顔で勢揃いしました。

その日、私は大鳥中コミュニティハウス廊下の展示物に足が止まりました。尊敬する「作家山本周五郎先生の名言」というコーナーがあったのです。先生はこの近くの間門の小高いところに住んで執筆されていました。その借家は今では改装されていますが、私はその家主と骨董品を通じて親しくしておりました。彼は「間門園」という有名な料理屋さんの主でもありました。コミュニティハウスには発刊された本が沢山並べられています。その中から名言を集めて別に壁面に張り出してあるのです。多分中学校の先生にフアンがいて研究会を作り、学生たちも参加して展示に協力したのだと思われまします。周五郎先生は山梨県大月にお生まれですが、横浜市立戸部小学校(現西前小学校)を卒業し、中学は中退したそうです。やがて質屋に奉公し、主人の勧めから小説を書き始めたといひます。結婚して前述の眺めがよく千葉県まで見える小高い丘の上に立つ家に住んでおられたのです。今は海が埋め立てられ、一面ガソリンスタンドが並ぶ景色に大きく変わっています。

直木賞候補になったとき受賞をお断りし、あらゆる賞も固辞されたと言います。NHK大河ドラマ「初木は残った」は人々の心に深く残る作品の一つです。人生観としては「人間は何を為したではなく、何を為そうかが大切だ」と言っておりまします。けだし名言です。

名言と言え、アメリカの大統領であったケネディー氏が就任の言葉に「いま私はアメリカの大統領になったが、皆が今度の大統領は何をしてくれるだろうかという前に、それぞれがこの合衆国に何が出来るかを自問してほしい」と言ったのです。私はこのスピーチに感動しましたが、多

大船撮影所誕生85周年記念  
横浜市民ミュージカル  
**SHINOBI 2022**  
原案・題字:松永春 脚本・演出:万田祐介 音楽:PI 坊  
＜全4回公演＞  
2月12日(土)  
①14:00(開場13:30)  
②18:00(開場17:30)  
2月13日(日)  
①11:00(開場10:30)  
②16:00(開場15:30)  
場所:関内ホール 小ホール  
入場料:一般 2,300円  
高校生以下 1,300円(自由席)



「中区音楽遊々」 本番風景⇒ 写真撮影:犬飼 裕一  
「横浜市民子どもミュージカル」 「横浜☆男声合唱団」 「赤い靴ジュニアコーラス 赤隊Ⅲ」  
「シニアゴスペル横浜ジーバース」 「元町ローゼス」 「琵琶と馬頭琴」  
「元町いぶし銀ゴスペル」 「赤い靴ジュニアコーラス ATF、青隊、赤隊Ⅰ・Ⅱ」 「音楽劇団 まっかなホント」

### 今後のスケジュール

★12/31(金) 大晦日  
よこはまメルヘン  
「童謡を歌い継ごう」  
場所:山下公園内「赤い靴はいた女の子像」を囲んで  
時間:12/31 23:45~1/1 0:15  
参加費:無料 自由参加

★2022年  
2月12日(土)・13日(日)  
横浜市民ミュージカル  
「忍 SHINOBI 2022  
～ヒーローになりたい君へ」  
場所:関内ホール・小ホール  
時間:12日(土) 1回目 14:00  
2回目 18:00  
13日(日) 3回目 11:00  
4回目 16:00  
入場料:一般 2,300円  
高校生以下 1,300円

★6月26日(日)  
第35期 赤い靴ジュニアコーラス  
定期演奏会  
※詳細は後日

★7月31日(日)  
第16回中区ダンスフェスティバル  
※詳細は後日

くの方も同感だったと思います。その言葉を最近の新聞が取り上げていました。コロナ禍には打って付けの言葉だと書いていました。誰かが感染を防ぐことをしてくれる訳ではなく、自分が自分を守る手段を講じなければならぬのです。

百年前、全世界にスペイン風が流行し世界人口の30%、すなわち4000万人が亡くなったとの事。当時は第1次世界の大最中で、ヨーロッパでもアジアでも軍隊の中で感染拡大となり手のつけられない時期でした。2021年の日本のように真つ最中でもオリンピックを開催出来るような状態ではなく医学の飛躍的な発展も無く大変でした。先日WHOの会長がスベイン風邪が2年で終息を迎えたようにコロナも来年の3月11日には終息するだろうと話していましたが、本当なら嬉しい話です。本当にしたいですね。

さて、このような時期にも私たちは工夫をしながら公演を待ちました。多くの公演が延期・中止の中、音楽表現の機会を継続したいと元町あかいくつスタジアムからのエンターテイメントを発信したので、「中区音楽遊々」と名付けたイベントに「赤い靴ジュニアコーラスのATF&青隊、赤隊Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「元町ローゼス」「横浜☆男声合唱団」「横浜市民子どもミュージカル」「シニアゴスペルジーバース」「元町いぶし銀ゴスペル」「琵琶と馬頭琴」そして音楽劇団「まっかなホント」が音楽劇「赤い靴の絵本」を披露しました。このイベントは好評で、それぞれ大きな拍手を頂きました。出演者も出番以外は観客となり、同じスタジアムの仲間の演奏を堪能し、お互いに知らなかつた仲間の活動を始めて知って力強さを感じたようです。そして24・25のヨコハマグラウンドインスターコンチネンタルホテルの赤い靴ジュニアコーラス赤隊Ⅲのクリスマスマスキャロルは素晴らしい歌声が吹き抜けの3階まで響き、人々の心に深く伝える事が出来たようで嬉しく思います。

大晦日には「赤い靴はいた女の子像」の周りに歌好きな方が自由参加で、42年目のヨコハマメルヘンを開催します。夜11時45分～元旦0時15分まで童謡を歌い継ぎます。今年中にお読みの方には「よいお年を！」新年にお読みの方には「おめでとう！」。新年には清々しい笑顔でお会いしましょう。

2021・12・31 団長 松永春